（様式１）

☆　保護者との関わりで難しいと感じた（感じている）事例についてまとめ、協議することによって、保護者への理解を深め、連携していく力を高めましょう。

令和３年度（第１回）６年次教職員研修会「児童生徒支援のための保護者との連携」

協議資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （班名） | （受講者番号） | （学校名） | （氏名） |
| ＜研究協議資料作成の留意点＞保護者との関わり（要求や苦情も含む）で難しいと感じた（感じている）事例（体験）を振り返り、次の１、２について、下記の５つの視点を参考にしながら記述する。＜参考＞対応や課題等を考えるための５つの視点①児童・生徒、家庭への日常的な関わり　②初期対応　③学校としての組織的な対応④その後の児童・生徒、家庭への対応　⑤連携・協力（PTAや関係機関等）１　保護者との関わりで難しいと感じた（感じている）事例２　１について講じた（講じている）**対応**（文頭に○）と**課題**（文頭に●）３　保護者と良好な関係を築き、連携を図るために、現在心がけていること、実践していること |

※　様式は、県総合教育センターホームページ（http://center.tym.ed.jp/）からダウンロードする。

※　A4 １枚にまとめ、E-mailで、５月10日(月)までに、kensyu@tym.ed.jpに送付する。

【件名：６－保護者理解・連携　添付ファイル名：受講者番号hg パスワード210520】

また、５月20日(木)の第１回研修会当日、この協議用資料を、班人数分＋２部持参する。